

富士フィルムの環境ビジョン

富士フィルムの追求する「信頼」

富士フィルムは、創業当初から製品の品質を高めること
 でお客様にご満足いただけるよう、その追求を企業活動の
 軸に定めてきました。

それは、主要な製品である写真フィルムが、一度使ってし
 まえば二度と使用できなくなってしまうものであり、「常に安
 定した良質なもの」という「信頼」を買っていただくことが企
 業としての存在理由だと考えてきたからです。またフィルムの
 製造工程では、きれいな水や希少資源である銀等環境から
 多くの恩恵を受けることから、企業活動の原点に「環境
 配慮・環境保全」を据えてきました。さらに、当社は数多くの
 化学物質を使用することから、(社)日本化学工業協会が中
 心となって設立した日本レスポンス・ケア協議会に1995
 年の設立当初から参画し、化学物質の開発、製造、物流、
 使用、最終消費を経て廃棄に至る全ての過程において自
 主的に「環境・安全・健康」を確保、活動の成果を公表する
 とともに、社会との対話・コミュニケーションを行う「レスポ
 ンス・ケア」にも積極的に取り組んできました。

これまでにステークホルダーの皆様から頂戴した「信頼」
 を礎に今後も一層「企業市民」として、その責任を果たし
 ていきたいと考えています。

富士フィルムが考える「持続可能な発展」

私たちは、これからも引き続きお客様からの「信頼」を中
 心に据え、より高い「環境品質」を実現するために、以下の
 3つの考え方に基いて取り組みを続けていきます。

1 [Triple Bottom Line] 環境面(地球環境の保全)、社会
 面(企業の社会的責任)、経済面
 (企業の成長・発展)を総合的に
 配慮する。

2 [Eco-efficiency] 環境効率 = $\frac{\text{売上高}}{\text{環境負荷}}$
 を上げる。(環境負荷を減らしな
 がら売上高を上げていく)

3 [Life Cycle Thinking] 製品の全ライフサイクルにわたり
 環境に配慮する。

この考え方にに基づき、富士フィルムは2002年度、新たな
 中期環境方針として「富士フィルムグループ グリーン・ポリシ
 ー」を制定しました。富士フィルムグループ全体が、環境諸
 課題に対する確実で一歩先行した取り組みを行うことによ
 り、企業体質・製品・サービスにおける高い「環境品質」を
 実現し、「持続可能な発展」に貢献したいと考えています。そ
 のために、企業活動の全般にわたって、以下のような
 「環境に配慮する」プロセスに取り組んでいます。

- ・環境に配慮したマーケティング活動
- ・環境に配慮した研究開発
- ・環境に配慮した技術の採用
- ・環境に配慮した原材料の調達
 (グリーン調達)
- ・環境に配慮した設計
- ・環境に配慮した生産ライン
- ・環境に配慮した製品の市場展開
- ・グリーン購入その他すべての業
 務分野で環境に配慮した職場
 づくり



企業市民
 Corporate Citizen の訳語。企業も社会を構成する一市民として、事業活動のみならず地
 域社会、環境、教育、文化などの多方面にわたり積極的に貢献していくという企業の姿
 勢を擬人化したものです。

グリーン購入 / グリーン調達
 製品やサービスを購入・調達する際に、必要性をよく考え、価格、品質だけでなく、環境への負
 荷ができるだけ小さいものを優先的に購入すること。「グリーン購入」は事務用消耗品、事務用
 機器、生活用品などの一般購買品の購入。「グリーン調達」は生産のための原材料や部品など
 の購入に使い分けられることがあります。

新しい「社会的責任」の遂行のために

富士フィルムにとって設立当初より追求し、果たそうとして
 きた「社会的責任」とは、製品品質への「信頼」に応えるこ
 とでした。

「地球環境時代」となった今日、富士フィルムは環境への
 配慮を深めることで「環境品質」を高めようとしています。そ
 してこれらの環境配慮を、さまざまな機会を通して社会に
 向け情報開示(ディスクロージャー)し、かつ積極的な
 説明責任(アカウンタビリティ)を果たしていきます。

企業として時代の要請に応えるためには、
 「持続可能な経済活動」を実現する経営基
 盤の確立こそが不可欠と考えるからであ
 り、創業当時に比べて企業規模もはる
 かに大きくなった今こそ、より広範囲
 な社会的責任を企業として果たす
 義務があるといえます。

このような今日的な責任を果
 たすため、富士フィルムは、環
 境のみならず、経済・社会の面
 においても、確実で一歩先行
 した取り組みを行っています。